

山形県立中央病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用、または、提供されることを希望されない場合は、下記の問合せ先にお問合せください。

研究課題名	大腸癌研究会プロジェクト研究 卵巣転移、膵径リンパ節転移に関する研究
該当者	卵巣転移：2000年から2014年に大腸癌卵巣転移と診断。膵径リンパ節転移：1997年～2011年に大腸癌膵径リンパ節転移と診断された患者さん。
当院の研究責任者	外科 須藤 剛
研究代表者	東京医科歯科大学 消化管外科学 絹笠祐介
本研究の目的	大腸がんは、卵巣転移や膵径リンパ節転移がある一定の割合で起こります。卵巣転移は腹膜転移に含まれると考えられていますが、卵巣転移の頻度や、卵巣へ転移をきたす経路、卵巣転移の治療方法について、確立されたデータはありません。膵径リンパ節転移においても、肛門管にかかる直腸がんでは一定の割合で転移しますが、転移の頻度、リンパ節を郭清する有効性、治療効果において大規模に調査を行ったデータはありません。 そこで私たちは、卵巣転移、膵径リンパ節転移の特徴や治療成績を明らかにすることを目的とし、研究を開始することとしました。
実施予定期間	実施承認後～2020年3月31日
研究の方法	この調査では、当院の外来・入院治療において、上記期間に診断された患者さん方の紙カルテ、電子カルテに記載のある診療情報から調査を行います。
研究に用いる試料・情報の種類	年齢、性別、大腸がん治療に関する診療情報、卵巣・膵径リンパ節転移における診療情報、治療効果、再発の有無、予後など
外部への試料・情報の提供・公表	調査研究成果を学会で公表します。
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報情報は削除します。
利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業はありません。
お問合せ先	外科 須藤 剛 023-685-2626